

皆瀬頭首工流域の水田水温と気温・日照時間の関係（1995年）

早期警戒情報においては、気温・日照時間・降水量が冷害危険度地帯別に過去7日間の移動平均で示されています。これらのデータと水田水温（午前9時測定）との関係を整理してみました。皆瀬頭首工流域にもっとも近い監視地点アメダス横手を使用しました。

1995年度は水温測定が週2日であるため、水温に関しては過去7日間の移動平均値を計算できないため、週2日のデータをそのまま使用して関係を図示することにします。

1) 日最高気温と水田水温の関係（図1参照）

水温データが少ないために、全体の傾向を読むことはできません。最高気温が25度を超えたのは6月30日。

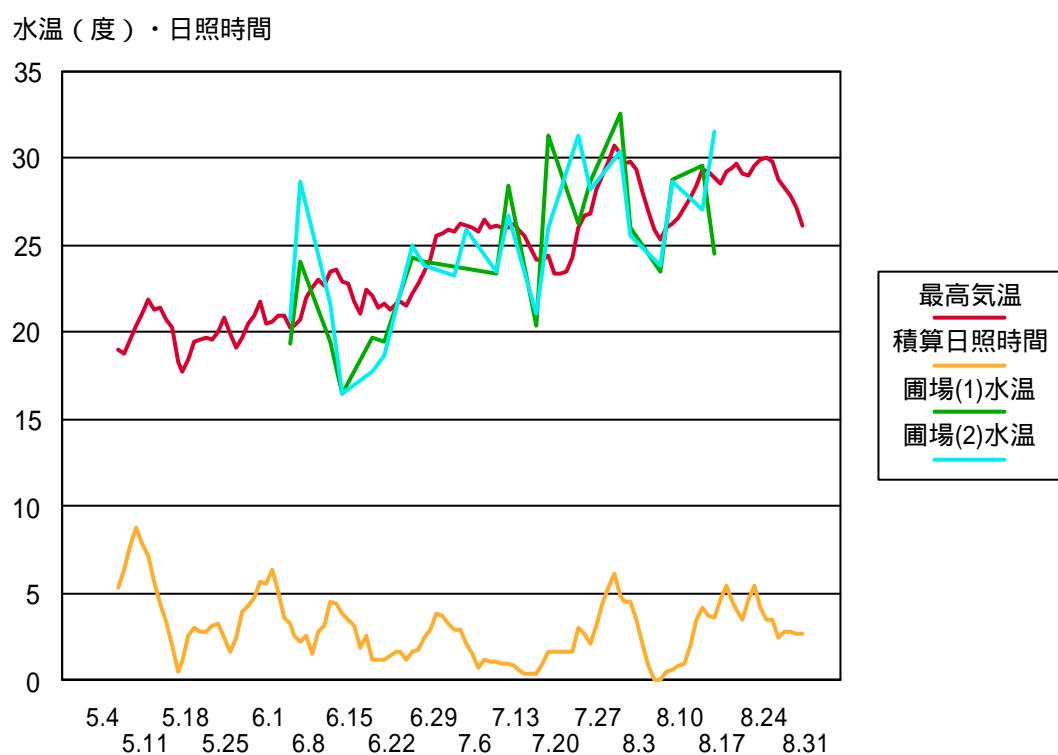


図1 アメダス横手の最高気温と水田水温(午前9時)の推移
1995年度
過去7日間の移動平均

2) 日最低気温と水田水温の関係（図2参照）

水温データが少ないために、全体の傾向を読むことはできません。最低気温が17度を超えたのは7月2日。

水温(度)・日照時間

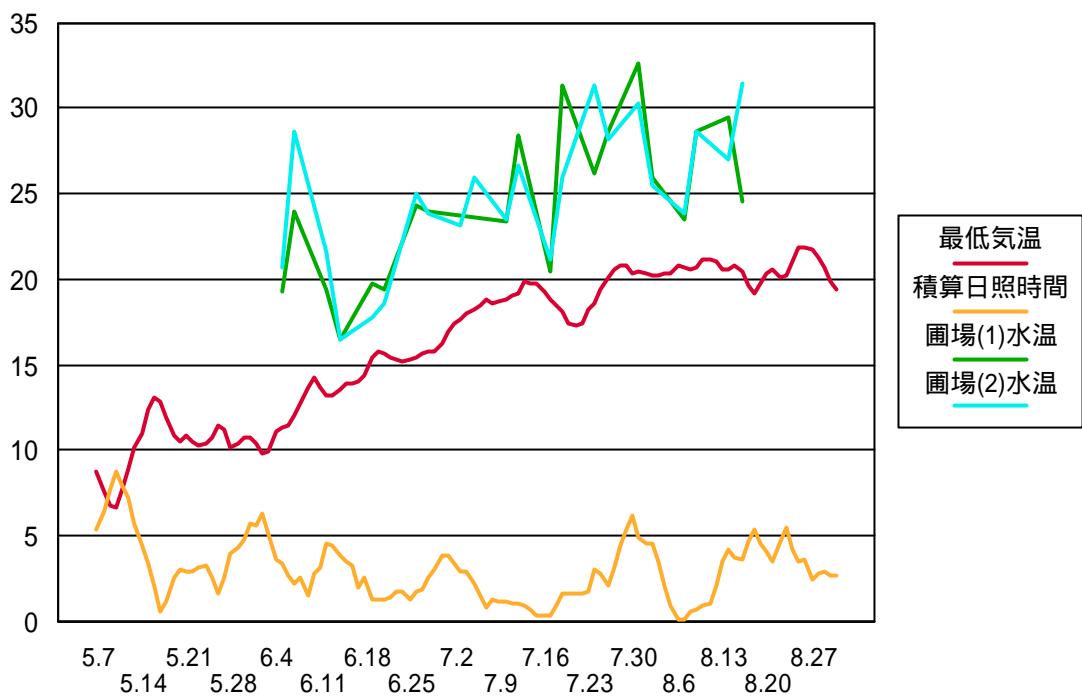


図2 アメダス横手の最低気温と水田水温(午前9時)の推移
1995年度
過去7日間の移動平均

3) 日平均気温と水田水温の関係(図3参照)

水温データが少ないために、全体の傾向を読むことはできません。平均気温が20度を超えたのは6月30日。

水温(度)・日照時間

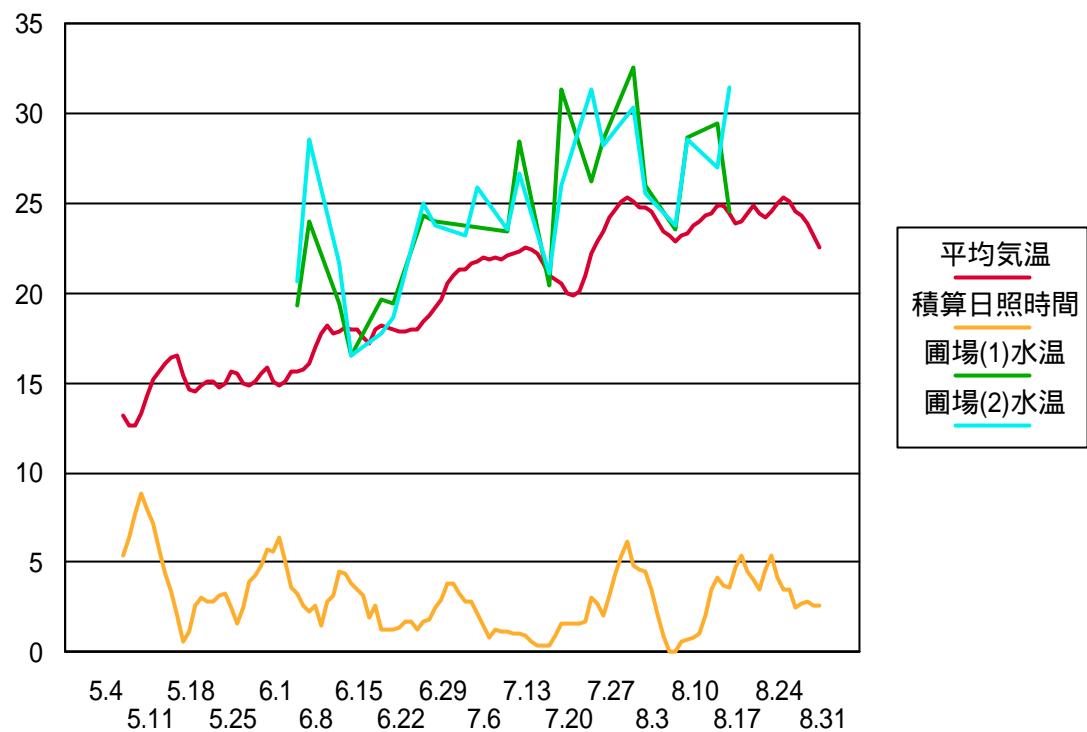


図3 アメダス横手の平均気温と水田水温(午前9時)の推移
1995年度
過去7日間の移動平均